

公文書共有管理 職員に実地指導

ファイリング導入の岩内町

【岩内】公文書を分
かりやすく分類、管理
する「ファイリングシ
ステム」の導入を進め
る町で24日、職員への
実地指導が行われた。

8月までに完了予定の
3部署をアドバイザー
が回り、書類の分類方
法などを指導した。
同システムは担当者
が個別にまとめていた
書類を内容ごと細分
化。見出し付きのフォ
ルダに挟み、キャビネ
ットで職員が共有管理
することで業務の効率
化や住民への情報公開
を進める狙いがある。
町では8月までに総
務財政、企画産業両課
と建設住宅課の一部が
導入予定で、対象46人
の職員が今月から書類
整理やレイアウト変更
に取り組んできた。



書類が移されたキャビネット内を見て、改良
点を伝える広田理事長（左端）

田伝一郎理事長が各課
を回り、作業の進み具合を点検。書類が消え
電話やパソコンだけの
机回りや、キャビネッ
ト内に目を配り、「こ
れは公文書なので机か
ら出してほしい」「フ
ォルダのタイトルにも
工夫が必要」など、丁寧かつ厳しい指導でさらなる改良を求めた。

企画産業課の担当
者、中村輝幸係長は「自
分の仕事を見つめ直す
ことができる。さらに
改善し精度を高めた
い」と話した。8月ま
で数回の指導を経て完
了し、9月から残る各
課なども着手。町は11
月までに全庁で導入を
目指す。（中秋良太）